


整理 No.	30	分類	「その他」	
会社名	株式会社 シンコー			
担当者	工事課長 小笠原 陽			
連絡先	TEL	022-295-1708	FAX	022-295-1709
	E-mail	a.ogasawara@shinko-kenzai.com		
技術の名称	浚渫土砂の安定処理工			
概要 (150字程度)	宮城県内の某港湾工事において発生する高含水比の浚渫土砂を、泥土処理専用プラント（定置型）にて固化材を添加し連続的に混合処理した。改良土はピストン式のスラッジポンプにて圧送し、場内の所定の場所へ集積。強度発現後、場外へ搬出し浦戸諸島内の工事用流用土として利用された。			
技術登録等	なし			
技術の概要	<p style="text-align: center;">●連続式混練プラントによる大容量固化処理技術</p> <p>◇特徴</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 可搬式連続式混練装置により100～120m³/hの処理が可能。 2. 対象土含水比が50～170%の範囲の含水比に適応。 3. 改良土を圧送することにより、狭小なヤードにおいてダンプ走路や一般車両走路を確保した。 4. 混合処理土は固化材添加量55kg/m³の貧配合でも良好な強度発現。 5. 固化処理後は、2日で200kN/m²以上となり、工事用流用土に利用可能。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div>浚渫土</div> <div>固化処理プラント</div> <div>改良土</div> </div> 			
次頁あり				

●改良フロー

浚渫土海上運搬



ピット排出



改良土圧送



工事用流用土・埋戻し



浚渫土揚土



固化処理プラント

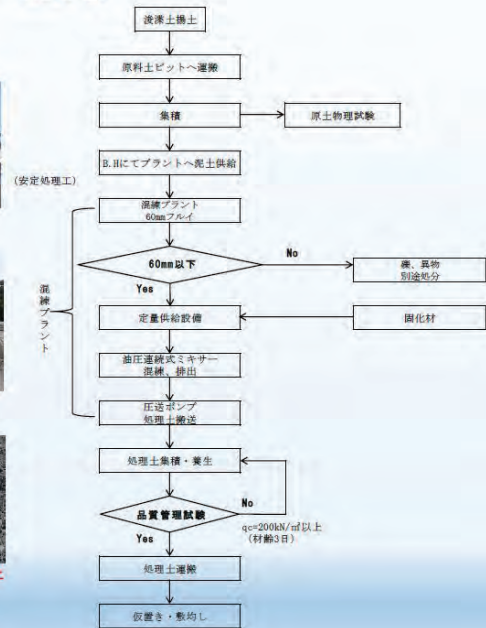


養生後の改良土



材齢2~5日 $q_u=400kN/m^2$ 以上

(浚渫土集積・運搬)

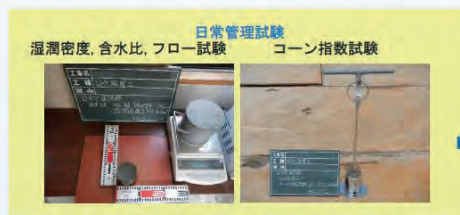


技術の概要
(つづき)

●現場での品質管理

◇品質管理試験

- ・改良後の土の物理試験を実施し改良土の性状を把握。
- ・日常管理では含水比, 湿潤密度, フロー値, コーン指数試験を行い、変化する対象土の適合性を管理。
- ・雨天時においても、改良土の搬出・受入れが可能であった。
- ・環境基準試験（環告46号）を実施し安全性を確認。



試験結果をデータ管理し品質確保

